
4 5 4 2. 蔵置料金請求先登録

業務コード	業務名
CUR	蔵置料金請求先登録呼出し
CUR01	蔵置料金請求先登録

1. 業務概要

AWB番号及び、蔵置料金請求先コードを入力することにより、蔵置料金請求先をシステムに登録する。

(1) 「蔵置料金請求先登録呼出し（CUR）」業務の場合

CUR01業務により登録された蔵置料金請求先コードを呼び出す。

(2) 「蔵置料金請求先登録（CUR01）」業務の場合

AWB番号及び、蔵置料金請求先コードを入力することにより、蔵置料金請求先をシステムに登録する。

本業務は、貨物情報の登録後から削除までの間、任意で可能とする。なお、変更・取消しも本業務で実施可能とする。

2. 入力者

航空会社、航空貨物代理店、通関業、機用品業、混載業、保税蔵置場、輸出入者

3. 制限事項

1業務で入力可能なAWB番号は最大30件とする。

4. 入力条件

(1) CUR業務の場合

(A) 入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

(B) 入力項目チェック

(a) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(b) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(C) 輸入貨物情報DBチェック

入力されたAWB番号に対する貨物情報が輸入貨物情報DBに存在すること。

(2) CUR01業務の場合

(A) 入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

(B) 入力項目チェック

(a) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(b) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(C) 輸入貨物情報DBチェック

入力されたAWB番号に対する貨物情報が輸入貨物情報DBに存在すること。

(D) 保税蔵置場別CREDIT扱業者DBチェック

入力された蔵置料金請求先コードに対する蔵置料金請求先情報が保税蔵置場別CREDIT扱業者DBに存在すること。

5. 処理内容

(1) CUR業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(B) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(C) 注意喚起メッセージ出力処理

登録を行うには再送信が必要な旨を注意喚起メッセージとして出力する。

(2) CUR01業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(B) 輸入貨物情報DB処理

①蔵置料金請求先及び蔵置料金請求先登録者を登録する。

②蔵置料金請求先に「X」が入力された場合は、入力されたAWB番号に対して登録済みの蔵置料金請求先を取り消す。

(C) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

(1) CUR業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
蔵置料金請求先登録呼出し結果情報	なし	入力者

(2) CUR01業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
蔵置料金請求先確認情報	印刷表示に「P」が入力された場合	入力者